

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平1-265674

⑤ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成1年(1989)10月23日

H 04 N 5/222

Z-8121-5C

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全18頁)

⑭ 発明の名称 ニュース番組放送システム

⑯ 特 願 昭63-94156

⑰ 出 願 昭63(1988)4月16日

⑱ 発 明 者	高 野 昌 幸	東京都品川区北品川6丁目7番35号	ソニー株式会社内
⑱ 発 明 者	小 野 塚 国 春	東京都品川区北品川6丁目7番35号	ソニー株式会社内
⑱ 発 明 者	長 沢 史 浩	東京都品川区北品川6丁目7番35号	ソニー株式会社内
⑱ 発 明 者	松 本 昭 彦	東京都品川区北品川6丁目7番35号	ソニー株式会社内
⑲ 出 願 人	ソニー株式会社	東京都品川区北品川6丁目7番35号	
⑳ 代 理 人	弁理士 田辺 恵基		

明 細 書

1. 発明の名称

ニュース番組放送システム

2. 特許請求の範囲

複数のニュース素材をキューシートに従って順次送出するニュース番組放送システムにおいて、

上記キューシートを作成する際に当該キューシートを構成するニュース素材にそれぞれ第1の参照コードを付与すると共に、

上記キューシートを構成するニュース素材を編集する際に上記第1の参照コードと同一の第2の参照コードを付与し、

編集されたニュース素材の送出時に、上記キューシートによつて指定されるニュース素材に付与された上記第1の参照コードを、上記編集されたニュース素材に付与された上記第2の参照コードと自動照合する

ことを特徴とするニュース番組放送システム。

3. 発明の詳細な説明

以下の順序で本発明を説明する。

A 産業上の利用分野

B 発明の概要

C 従来の技術

D 発明が解決しようとする問題点

E 問題点を解決するための手段(第3図)

F 作用(第3図)

G 実施例

(G1) 管理用データの構成(第1図)

(G2) ニュース番組放送システムの全体構成

(G3) IDデータによるニュース素材の管理(第3図)

(G4) 自動制御系による作業(第4図～第14図)

(G5) 実施例の効果

(G6) 他の実施例(第15図～第21図)

H 発明の効果

A 産業上の利用分野

本発明はニュース番組放送システムに関し、特

特開平1-265674(2)

にテレビジョン放送システムに適用して好適なものである。

B 発明の概要

本発明は、ニュース番組放送システムにおいて、キューシートの作成時及びニュース素材の編集時に参照コードを付与し、ニュース素材の送出時に当該参照コードを自動照合するようにしたことにより、確実かつ簡易にニュース素材を管理しながら送出できる。

C 従来の技術

テレビジョン放送におけるニュース番組は、種々雑多なニュースソースを視聴者に迅速かつ正確に伝達するもので、所定の基準に従って決められた制限時間の範囲でニュースソースを秒単位で集約して編集された順位に従ってオンエアするようになされている。

ところが實際上ニュース番組を制作する際には、放送しようとするニュースの種別に応じて視聴者

の関心に適応できるような雰囲気をもつた画面を必要に応じて分かり易くかつ正確に限られた時間の中で配列させることが必要であると共に、時々刻々発生するニュースソースをできるだけ速くニュース番組に組み入れる必要がある。

D 発明が解決しようとする問題点

このように予め予測できないような内容及び発生時点、放送場所をもつニュースソースを所定の時間内のニュース番組として構成して行くためには、記者や編集者等の報道部員が、ニュースソースを構成する素材をできるだけ簡便かつ正確にニュース番組にまとめることができると共に、当該まとめ終わつた各ニュース番組を途切れることなく順次送出し得るようにすることが必要である。これに加えて、緊急性が生じた場合には、必要に応じて各番組の送出順序を入れ換えることができるようなニュース番組放送システムを実現できれば、視聴者の信頼感を高めることができるようなニュース番組を放送できると考えられる。

因にニュース番組は種々雑多なニュースソースをその緊急性や視聴者の関心の程度等の多様な条件を考慮しながらニュースソース全体の中から放送すべきニュース素材を迅速かつ的確に選定して行く必要があることから、オンエア時、又はその直前においても、ニュース番組を順次自動的に送出している装置に対して、報道部員が必要に応じて手動で送出状態を確認したり、変更したりできるようにする必要がある。

本発明は以上の点を考慮してなされたもので、収集された種々雑多なニュース素材を、混乱なく管理しながら記者、編集者等の報道部員が必要を感じたときこれに応じてできるだけ簡易な操作で的確にニュース番組に組み込んで行くことができるようにしたニュース番組放送システムを提案しようとするものである。

E 問題点を解決するための手段

かかる問題点を解決するため本発明においては、複数のニュース素材SM1～SMNをキューシ

トCUSに従って順次送出するニュース番組放送システムNEWSにおいて、キューシートCUSを作成する際に当該キューシートCUSを構成するニュース素材SM1～SMNにそれぞれ第1の参照コードを付与すると共に、キューシートCUSを構成するニュース素材SM1～SMNを編集する際に第1の参照コードと同一の第2の参照コードを付与し、編集されたニュース素材SM1～SMNの送出時に、キューシートCUSによつて指定されるニュース素材SM1～SMNに付与された第1の参照コードを、編集されたニュース素材SM1～SMNに付与された第2の参照コードと自動照合するようにする。

F 作用

キューシートCUSを作成する際に各ニュース素材SM1～SMNに付与した参照コードと同一の参照コードを、編集されたニュース素材SM1～SMNに付与すると共に、ニュース素材SM1～SMNの送出時に、第1及び第2の参照コード

特開平1-265674(3)

を自動照合するようにしたことにより、確実にキューシートCUSによつて指定されたニュース素材SM1～SMNを順次送出することができると共に、ニュース素材SM1～SMNの編集から送出に至るまでの間のニュース素材SM1～SMNの管理を、参照コードに基づいてなし得ることにより、ニュース素材SM1～SMNの処理を迅速かつ確実になし得るニュース番組放送システムを実現し得る。

G実施例

以下図面について、本発明の一実施例を詳述する。

(G1)管理用データの構成

ニュース番組において送出されるニュースソース情報は、第1図に示すように「番組」、「項目」、「素材」に分類され、この分類に応じて全てのニュース素材を格別に区別できる参照データ(これをIDデータと呼ぶ)を割り当てると共に、当該IDデータに基づいてニュース素材の管理及

び処理を実行する。

放送局1局における1日分のニュース番組は、その放送時刻の順序に従つて第1、第2……第Lの「番組」情報に分類され、各「番組」は番組名、例えば「ニュース/スポーツ」、「朝のニュース」……「特別番組」によつて呼ばれると共に、固有の番組コードPR1、PR2……PRLが付与される。

第1、第2……第Lの「番組」情報は、第1、第2……第Mの「項目」情報で構成され、各「項目」情報はニュース内容を表す項目名、例えば「円高120円突破」、「D航空機」……「お天気」によつて呼ばれると共に、固有の項目コードIT1、IT2……ITMが付与される。

さらに各「項目」情報の内容は、「VTR」映像、「静止画」グラフィック、「カメラ」映像……「中継」映像等の「素材」が含まれており、各「素材」に対して素材コードSM1、SM2、SM3……SMN及びナンバコードNOが付される。

因に素材ナンバコードは、同じ「素材」に複数

の情報が含まれている場合にこれを区別できようになされている。

實際上各項目情報は、素材の時間列を表すキューシート情報と、アナウンス原稿とでなり、キューシート情報は素材情報と、スイッチャ情報とで構成される。

かくしてニュース番組のすべてのニュース素材は、番組コードPRL(L=1、2……L)と、項目コードITM(M=1、2……M)と、素材コードSMN(N=1、2……N)と、素材ナンバコード(=NO1、2……)とでなるIDデータによつて特定することができ、この実施例の場合のニュース番組放送システムは、このIDデータを基準にして素材の処理を実行する。

(G2)ニュース番組放送システムの全体構成

第2図において、NEWSは全体としてニュース番組放送システムを示し、ホストワークステーション1による管理の下に、各「番組」情報を構成する「項目」情報が作成準備されると共に、オ

ンエア時、当該作成準備された「項目」情報に含まれる「素材」情報が、自動制御装置2によつて本線スイッチャ3を介して本線出力BDoutとして1つずつ送出される。

ニュース番組放送システムNEWSは、伝送ライン4を介してホストワークステーション1に接続されたワークステーション5A、5B……5Kを有し、各項目を担当する記者が、当該ワークステーション5A、5B……5Kを用いて、収集した「素材」情報を処理して各項目ごとにキューシートCUSを作成し、当該キューシートCUSのデータをホストワークステーション1に蓄積する。

ここで、キューシートCUSは、1つの「項目」ごとに「素材」情報の送出時刻をスケジュールとして定めたもので、オンエア時キューシートCUSに従つて各項目に含まれる「素材」情報が送出される。

實際上報道部においては、報道デスクがニュース番組の全体構成を管理し、各「番組」の「項目」を決定すると共に、「項目」ごとに担当記者及

特開平1-265674 (4)

び時間を決める。決められた記者は、担当する「項目」について素材構成プランを立てることにより項目内容（すなわちニュース素材、時間、アナウンス原稿）を作成して報道デスクにフィードバックする。

通常この作業を繰り返した後報道デスクは項目割り最終版を決定し、この最終版に基づいて記者はキューシートを作成すると共に、素材構成プランに従って電子映像素材（ENG素材）を電子映像編集室（ENG編集室）に編集依頼をすると共に、テロップ、静止画等をコンピュータグラフィックス編集室（CG編集室）に制作依頼をする。かくして項目割り最終版に含まれる素材が編集される。

電子映像素材は、取材により収集された素材テープ11A、11B、11Cを編集ブース12A、12B、12Cにおいて送出用テープ13に編集され、この送出用テープ13がビデオテープレコーダ（VTR）カートシステム14にセットされ、オンエア時本線スイッチャ3を介して送出される。

み込んだり、素材分配スイッチャ36を介してマイクロ回線37から取り込んだお天気カメラ情報をお天気カメラシステム35に供給することにより、本線スイッチャ3に送出される。

さらに「中継」情報は、マイクロ回線37や、ネット回線38、外部回線39から素材分配スイッチャ36を介して直接本線スイッチャ3に供給される。

實際上素材分配スイッチャ36から取り込まれる情報は、ホストワークステーション1から与えられる回線予約情報S₁に基づいて、回線制御回路40を制御することにより取り込まれる。

この実施例の場合、緊急送出装置41に予め格納されている緊急情報を自動制御装置2の制御の下に必要なに応じて本線スイッチャ3に送出し得るようになっている。

またホストワークステーション1は、入出力装置1Xとして、手書入力タブレットIO1、マウスIO2、イメージリーダIO3及びプリンタIO4を有する。

また緊急取材によつて持ち込まれた緊急持ち込みテープ15は、緊急送出用テープ16として直接VTRカートシステム14にセットされる。

またテロップ、静止画は、静止画作画編集装置21によつて、コンピュータグラフィックス22、キャラクタージェネレータ23、テロップ装置24を動作させながら作成され、静止画テンポラリストレージ25を介して静止画マスタファイル26に格納される。

かくして格納された静止画素材は、オンエア時、静止画作画編集装置21によつて静止画テンポラリストレージ25を介して静止画マスタファイル26から読み出されて静止画送出装置27を介して本線スイッチャ3に送出される。

またカメラ映像素材は、アナウンス原稿卓31から得られるアナウンス情報ANNと共に、スタジオカメラシステム32を介して本線スイッチャ3に送出される。

さらに「お天気」情報は、専用回線33からモデム34を介してお天気カメラシステム35に読

(G3) IDデータによるニュース素材の管理

ニュース番組放送システムNEWSにおいては、ニュース制作時のニュース素材の管理を第3図に示すIDデータの管理手順RT0に従って実行する。

まず処理ステップRT1において、報道デスクがホストワークステーション1を用いて制作しようとするニュース番組名及び当該ニュース番組を構成するニュース項目名を手書きによつて入力し、確認した後登録する。当該登録の際に、「番組」に対して番組コードPR1、PR2……PRLが付与されると共に、配列された「項目」の順序に応じて項目コードIT1、IT2……ITMが付与される。

次に処理ステップRT2において報道デスクが各ニュース項目に対して記者を割り当てることにより、割り当てられた記者が各ニュース項目について原稿を作成し、静止画、VTRテープ等のニュース素材を収集する。

続いて記者は処理ステップRT3において収集

特開平1-265674 (5)

したニュース素材に基づいて「項目」内における送出ストーリーを考え、「素材」及びその送出時の効果を決定する。

このようにして「素材」の送出順序が決まると、その送出順序に応じて素材コードSM1、SM2……SMNが決定されると共に、当該「素材」のナンバコードNOが決定される。

そこで記者は次のステップRT4においてワークステーション5A～5Kを用いてホストワークステーション1に設けられているIDファイルに素材コード及びナンバコードを登録することにより、コードを付与する。

続いて処理ステップRT5において記者は「素材」の編集を編集室に依頼し、編集室は「素材」を編集する。ここで、編集室の編集ブース12A～12C及び静止画作画編集装置21には、ホストワークステーション1から各「素材」コードSM1～SMN及び「素材ナンバ」コードNOを表すコードデータDataが伝送され、編集室は当該編集した「素材」に素材コード及びナンバコード

を付与してVTRカートシステム14、静止画マスタファイル26に格納する。

かかる編集依頼と共に記者は、ステップRT6においてワークステーション5A～5Kを用いてキューシートCUSを作成する。

キューシートCUSはオンエア時の素材送出順序及び付加する効果を時間順次にプログラムしたデータであり、記者は番組を選択すると共に、当該番組を構成する技術項目を選択し、当該ニュース項目を構成する素材を順次入力して行く。

ホストワークステーション1において報道デスクによつてすでに登録されている番組名及び項目名をワークステーション5A～5Kから伝送ライン4を介して読み出すと共に、当該「項目」を構成する「素材」を順次入力することによりキューシートCUSを作成して行く。

このようにして作成されたキューシートCUSを構成する各「素材」には、番組コード/項目コード/素材コード/ナンバコードが付されていることにより、キューシート全体には当該コードの

組合せでなる素材IDがオンエア時の送出順序に従つて配列されることになる。

かくして作成されたキューシートCUSを表すデータは、ホストワークステーション1に転送格納され、ホストワークステーション1は当該キューシートからデバイス制御ファイル（各デバイスの制御順序とスイッチャ切換え時の効果が記述されている）及び素材IDファイル（制御の順序に従つて素材IDが並べられている）を作成して保持する。

ニュース素材の送出時には、ステップRT7においてニュースサブの報道部員がワークステーション1を介して自動制御装置2によつてキューシートCUS上の素材IDと、編集された「素材」の素材IDとの自動ID照合を実行させると共に、その照合結果をモニタ表示させることにより確認をした後、処理ステップRT8において「素材」を送出させる。かくして処理ステップRT9において当該IDの管理処理手順を終了する。

(G4)自動制御系による作業

第2図のニュース番組放送システムNEWSは、ニュースサブにホストワークステーション1と共に設備されている自動制御装置2を中心とする自動制御系が、報道部員のマニュアル操作に応動しながら第4図に示す作業手順を実行することにより、自動的に送出情報の作成処理や、本線スイッチャ3及びこれに接続された機器を自動制御しながらオンエア処理を実行して行く。かくするにつき、報道部員は各「項目」を構成する「素材」の制作状況や、送出準備されている「素材」の内容がモニタに表示されることにより容易に確認できる。

先ず第4図のステップSP1において、報道デスクがホストワークステーション1の手書入力タブレットIO1（第7図）及びマウスIO2を用いて「番組」及び「項目」を手書入力する。

すなわち第7図に示すように、手書入力タブレットIO1の表示画面DSINに登録すべき項目名（例えば「円高1ドル120円突破3:00」）を手

特開平1-265674 (6)

書きすると共に、ホストワークステーション1の表示画面DDS上の「番組登録」入力表示部DS1及び「番組表示」入力表示部DS2（初期画面において表示されている）にカーソルを置き、マウスのボタンをクリックすることにより行う（これをクリック入力と呼ぶ）。

すなわちホストワークステーション1の初期画面（第5図）において、「番組登録」入力表示部をクリック入力すると、タブレットIO1に書きされた番組名がホストワークステーション1に登録され、その登録操作順序に従って第1、第2……第Nの「番組」（第1図）の番組名「ニュース/スポーツ」、「朝のニュース」……「特別番組」及びその放送時間をそれぞれ登録することができる。

これに対して、表示画面DDSの「番組表示」入力表示部DS2をクリック入力すると、ホストワークステーション1は第6図に示すように、登録された番組名及び放送時間を、例えば1日の時刻の順序に従って表示すると共に、「項目登録」

入力表示部DS3及び「項目表示」入力表示部DS4、「終了」入力表示部DS5を表示する。

第6図において、「項目登録」入力表示部DS3及び番組名をクリック入力すると、表示画面DDSに手書き入力タブレットIO1から当該番組名の番組を構成する項目名（例えば「円高1ドル120円突破3:00」）を表示画面DDSに表示すると共に、これを登録する。

このようにしてホストワークステーション1に登録された項目は、第6図において「項目」入力表示部DS4をクリックすることにより、第8図に示すように表示画面DDS上に一斉に表示される。

第6図において「終了」入力表示部DS5又はDS14をクリックすると、ホストワークステーション1は第5図の初期画面に戻る。

第8図の場合、番組名「夕方のニュース」の「番組」として8つの「項目」、すなわち「円高1ドル120円突破3:00」、「D航空機K金見5:00」……「お天気5:00」がすでに登録されていること

を表している。

このようにしてホストワークステーション1を用いて報道部デスクが「項目」を手書き入力した状態において、ニュース番組制作作業（第4図）は次のステップSP2に進む。

このステップSP2は入力された「項目」に割り当てられた記者が、「項目」の原稿を作成すると共に、「素材」を選択し、次の作業ステップSP3において「素材」の編集を依頼し、このとき編集室は「素材」を編集した後ステップSP4において各「素材」にIDコードを付与する。かくして編集された「素材」はニュース番組放送システムに登録された状態になる。

続いて記者は作業ステップSP5においてワークステーション5A、5B……5Kを用いて割り当てられた「項目」ごとにキューシートCUSを作成する。

この作業は、第6図及び第8図について上述したように、報道デスクによつてホストワークステーション1において登録された「項目」を、ワー

クステーション5A、5B……5Kにおいて伝送ライン4を介して読み出すことにより、第8図について上述したと同じ項目画面をワークステーション5A、5B……5Kの表示画面DDSX上に表示させた後、これから作成しようとする項目名例えば「円高1ドル120円突破3:00」をクリック入力すると共に、「キューシート」入力表示部DS21をクリック入力する。

このときワークステーション5A～5Kの表示画面DDSXには、第9図に示すようなキューシートCUSの画面が表示される。

このキューシートCUSの画面は、番組名「夕方のニュース」及び項目名「円高1ドル120円突破3:00」の表示と共に、各「素材」、すなわち「スタジオカメラ」、「VTR」、「静止画」、「中継」、「テロップ」、「スイッチャ」について横長の時間帯表示を順次縦方向に配列した構成を有し、このキューシートCUSによつて、当該「項目」について使用される「素材」の時間的な配列構成を表すようになされている。

特開平1-265674 (7)

このキューシートを作成する際には、記者は「挿入」、「移動」、「削除」、「入れ換え」、「←」、「→」、「印刷」入力表示部DS31、DS32、DS33、DS34、DS35、DS36、DS37を必要に応じてクリック操作する。

ここで「挿入」入力表示部DS31をクリックすると、第10図に示すように、キューシートCUSの表示画面の右側部分にウィンドWが開くことにより、「素材」及び「スイッチャ効果」を選択できるようになされている。

この実施例の場合「素材」として、4台のスタジオカメラC1～C4と、4台のVTRV1～V4と、4枚の静止画S1～S4、2つの中継画面NET1及びNET2、2つのテロップFPU1～FPU2を選択できるようになされていると共に、12個の効果を選択できるようになされており、各「素材」及び「スイッチャ効果」を表す選択マークがウィンドWに配列されており、記者が当該マークをクリック入力することにより「素材」又は「スイッチャ効果」を選択指定すると、当該

選択指定された「素材」及び「スイッチャ効果」の時間帯にカーソルが移つてその「素材」又は「スイッチャ効果」の開始時刻及び終了時刻をクリック入力できるようになされている。

第10図の実施例の場合項目「円高1ドル120円突破3:00」は、3分間の「素材」を配列してなり、「スタジオ」の時間帯のうち、タイム「0:00」から1分10秒（「1:10」）の時間の間スタジオカメラC1の使用が登録され、当該スタジオカメラC1の使用終了タイム「1:10」から1分10秒（「1:10」）の間VTRV1の使用が登録され、このVTRV1の使用終了時点2分20秒（「2:20」）から当該項目の終了タイム「3:00」までの間中継ネットワークNET1の使用が登録され、その間に10秒間の静止画S1及び5秒間のテロップT1が「スイッチャ効果」と共に割り込み挿入されるような登録がされている。

このキューシートCUSによつて表されている「素材」の時間配列の登録データは、時間配列を表すタイムコードと、各「素材」及び「スイッチ

ャ効果」に割り当てられた素材コードとによつて表現されており、当該キューシートCUSの作成が終了すると、そのキューシートデータがワークステーション5A～5Kから伝送ライン4を介してホストワークステーション1に転送格納される。

なお第9図及び第10図において、「移動」入力表示部DS32をクリック入力すると共に、すでに入力されている「素材」又は「スイッチャ効果」の表示上にカーソルを移してクリック入力すると、その「素材」又は「スイッチャ効果」は画面上時間軸方向（すなわち左右方向）に移動させることができ、かくして所望の位置に移動させた後クリック入力すると、「素材」又は「スイッチャ効果」の時間軸上の移動処理が実行される。

また「削除」入力表示部DS33をクリック入力すると共に、削除したい「素材」又は「スイッチャ効果」の表示にカーソルを移してクリック入力することにより、当該「素材」又は「スイッチャ効果」を削除処理することができる。

また「入れ換え」入力表示部DS34をクリッ

ク入力し、続いて入れ換えたい第1及び第2の「素材」又は「スイッチャ効果」表示を順次クリック入力すると、これら「素材」又は「スイッチャ効果」を互いに入れ換えることができる。

「←」及び「→」入力表示部DS35及びDS36はクリック入力操作中に時間軸が進む方向又は戻る方向にカーソルを移動することができる。

「印刷」入力表示部DS37をクリック入力すると、表示画面DDSX上のキューシートCUSがそのままプリントアウトされる。

このようにしてキューシートCUSの作成が終了して「終了」入力表示部DS38をクリック入力すれば、表示画面DDSXは第5図の初期画面に戻る。

このようにしてワークステーション5A～5Kを用いて作成されたキューシートCUSがホストワークステーション1に登録格納されると、ホストワークステーション1は作業ステップSP6（第4図）において、各「項目」ごとに、作成されたキューシートCUSを構成している「素材」の

特開平1-265674(8)

IDコードと、上述のステップSP3及びSP4において編集された「素材」に付されたIDコードとを自動照合することにより、一致するか否かを確認する。

かくして一致すれば、作成されたキューシートCUSに使用されている「素材」が編集された状態で登録完了していることを表しており、このことは当該キューシートCUSを用いて「素材」を順次送出できるスタンバイ状態になっていることを意味している。

このようにして各「項目」ごとにキューシートCUS上の「素材」がスタンバイ状態になっているか否かは、作業ステップSP7以後の作業ステップにおいて確認される。

すなわちステップSP7以降の作業ステップ（オンエア時の作業ステップに相当する）において、報道部員はホストワークステーション1において、必要に応じて「素材」及び「項目」ごとにキューシートCUSによつて送出する予定になっている「素材」がスタンバイ状態になっているか否かの

確認をすると共に、緊急時における「項目」変更が生ずる可能性について配慮をしながら、「項目」を構成している「素材」をキューシートCUSで表されている順序でテイクキーTAKE（送出用スイッチ）を操作するごとに1つずつ送出して行くことができる。

この実施例の場合、自動制御装置2には項目モニタMR1及び素材モニタMR2を有し、作業ステップSP7において以下の手順によつて各「項目」に含まれる「素材」がスタンバイ状態になったか否かを静止画でなる見出し画を表示することによつて確認できるようにする。

この実施例の場合ホストワークステーション1は第8図の項目画面を表示した状態において、項目表示例えば「衆院予算委H委員長1:30」をクリック入力すると共に、「素材モニタ」入力表示部DS26をクリック入力したとき、素材モニタMR2に第11図又は第12図に示すような素材一覧画面を表示する。

第11図の素材一覧画面は、項目表示「衆院予

算委H委員長1:30」の表示と共に、当該項目について作成されたキューシートCUSに基づいて使用されている「素材」すなわち「カメラ1」、「静止画1」、「静止画2」、「VTR1」についての素材名表示が一覧表のように配列されている。

ここで上述のステップSP6においてキューシートCUS上の素材コードと編集素材の素材コードとの間のIDコード自動照合の結果、照合が取れなかったものについては第12図に示すように素材名を文字として表示したままにしておく（この画像を素材名画像と呼ぶ）。

これに対して自動ID照合が取れたものが発生すれば、その都度素材表示として、素材名画像IND1、IND2、IND3が表示されていた位置に素材見出し画像IND1X、IND2X、IND3Xを表示し、これに対して依然として自動ID照合が取れない素材については素材名画像IND4をそのまま残すようにする。

ここで、素材見出し画像IND1X、IND2X、IND3Xとしては、当該「項目」情報の内

容を簡明に表す画像、例えば先頭画でなる静止画を用い、これにより一見してニュース項目が分かるようにする。

このようにすることにより、当該項目を構成する素材の制作作業が終了してスタンバイ状態になったか否かの進捗状況を自動制御装置2の素材モニタMR2を監視することによつて容易に確認することができる。

かかる確認は、作業ステップSP8において、全ての項目について、素材画スタンバイ状態になったことを監視することにより確認し得る。

かかる作業ステップSP8における作業は、ホストワークステーション1において第8図の項目画面を表示した状態において項目表示を順次クリック入力して行くことによつて素材モニタMR2の表示を切り換えることによりなされる。

これと共に自動制御装置2は、項目モニタMR1を用いて、各「項目」についてスタンバイ状態になったか否かを各「項目」の見出し画像例えば最初の素材の見出し画像を用いて作業ステップS

特開平1-265674 (9)

P 9においてモニタする。

この項目モニタMR1は、第13図及び第14図に示すように、ホストワークステーション1に手書入力によって項目名が登録されたとき、当該項目名画像HED1～HED8を項目モニタMR1の表示画面上に一覧表として常時表示しておく(第13図)。

そしてその後各「項目」について全ての「素材」がスタンバイ状態になったとき、第12図について上述したように、1つの項目に含まれる全ての「素材」についての見出し画像IND1X、IND2X、IND3Xのうち例えば最初の見出し画像IND1Xでなる項目見出し画像HED1Xを、それまで表示されていた項目名画像HED1と入れ換えてその位置に表示する。

かくして報道部員は項目モニタMR1を監視することによって当該ニュース番組全体についての制作用業の進捗状況を容易に把握することができる。

かくして項目モニタMR1の項目一覧画面の全

てが項目見出し画像に置き換えられた状態になったとき、当該「項目」についての「素材」がスタンバイ状態になったことを意味しており、このとき報道部員は自動制御装置2に設けられているタイクキーTAKEを操作することにより、キューシートを構成している「項目」に含まれる「素材」を最初の「素材」から順次タイクキーTAKEが操作されるごとに本線スイッチヤ3を介して本線出力BDoutとして作業ステップSP10において送出して行く。

かかるオンエア状態において例えば緊急持ち込みテープ15が持ち込まれて来た場合には、第2図について上述したように、IDデータを付けない緊急送出用テープ16としてVTRカートシステム14に装着されることにより、ニュース番組放送システムNEWSに緊急登録される。

このとき報道部員は必要に応じて、作業ステップSP11においてホストワークステーション1を操作することによって項目の入れ換え作業を実行する。

すなわちホストワークステーション1において第8図について上述した項目画像を読み出している状態において、「入れ換え」入力表示部DS22をクリック入力した後、入れ換えた項目表示を順次クリック入力する。

このようにして入れ換え操作がされると、ホストワークステーション1の素材IDファイルに書き込まれている素材IDのうち、入れ換えるべきIDを有する項目に含まれる素材が緊急用テープに一括変更される。

かくしてオンエア状態において緊急なニュースソースが持ち込まれた場合、これをすでに登録されている所定のIDが付された「素材」に代えてこれを緊急素材と一括して入れ換えることにより、緊急に送出することができる。

(G5)実施例の効果

以上の構成によれば、編集に先だつて記者が「素材」に素材IDを付与すると共に、当該素材IDを用いてキューシートCUSを作成した後、当

該キューシートCUSの素材IDと編集素材の素材IDとの自動ID照合が取れた「素材」についてこれを本線出力BDoutとして送出するようにしたことにより、ニュース番組放送システムNEWS全体として「素材」の管理を一段と容易にし得る。

その結果送出すべき素材の作成作業が終了したか否かの確認や、緊急素材の入れ換えなどを「素材」に付与された素材IDを基準として実行して行けばよいことにより、必要に応じて報道部員のマニュアルなモニタ動作による判断を組み合わせながら、ニュース素材の処理をニュース番組放送システムによって迅速かつ正確に実行できる。

また上述の実施例においては、キューシートCUSに従って送出順序が決められたニュース素材をその順序に従って素材一覧画面として素材モニタMR2に表示するようにしたことにより、各項目を構成するニュース素材の制作進捗状況を素材モニタMR2の表示によって確実に把握し得る。

また上述の実施例においては、素材モニタMR

特開平1-265674 (10)

2において「素材」を素材一覧画面として配列表示するにつき、自動ID照合が取れた「素材」について当該配列位置に見出し画像を表示するようにしたことにより、スタンバイ状態になったニュース素材の内容を直観的にかつ確実に把握できるようにし得る。かくするにつき、ID照合が取れないニュース素材についてはID照合が取れていないことを表示するようにしたことにより（上述の実施例の場合手書入力された文字表示をそのまま素材名画像IND4（第12図）として表示し続けるようにする）、スタンバイ状態になった「素材」の確認をさらに一段と容易にし得る。

また上述の実施例においては、項目モニターMR1を設け、当該項目モニターMR1によつて1つのニュース番組において用いるニュース項目を送出順序を表すように配列表示すると共に、制作が完了したニュース項目について、当該項目表示位置の表示を見出し画像HED1X（第14図）に置き換えるようにしたことにより、当該ニュース番組の制作進捗状況を容易かつ確実に把握すること

ができ、かくして不安なく当該ニュース番組をオンエアすることができる。

(G6)他の実施例

(i) 第11図及び第12図においては、素材モニターとして1台の素材モニターMR2を設けるようにした場合について述べたが、これに代え、第15図及び第16図に示すように、2台の素材モニターMR11及びMR12を設け、第1の素材モニターMR11にオンエアするニュース項目、すなわちオンエア項目ONAIRの「素材」を素材一覧画面として表示すると同時に、次に送出するニュース項目、すなわちネクスト項目NEXTを構成する「素材」を一覧画面として表示し、さらに第2の素材モニターMR12に次の次に送出するニュース項目、すなわちセカンド項目SECONDを構成する「素材」を素材一覧画面として表示するようにする。

このようにすれば、第15図及び第16図に対応させて第17図及び第18図に示すように、オ

ンエア項目ONAIR、ネクスト項目NEXT、セカンド項目SECONDについての「素材」一覧画面として一覧できるようにしたことにより、現在オンエアしようとしているニュース項目に限らず、「その次」、及び「次の次」に順次送出されるニュース項目についても、そのスタンバイ状態を目視確認できることにより、当該ニュース番組の素材の送出を一段と高い安心感をもつて送出し得る。

かくするにつき、オンエア時にニュース項目の送出順序を入れ換えたいような場合には、第18図に対応させて第19図に示すように、セカンド項目SECONDに当該入れ換えようとする「素材」の素材一覧画面を表示させることにより、そのスタンバイ状態を容易に確認でき、かくするにつき、オンエアしているオンエア項目ONAIRについて項目入れ換えの影響を表示させないようにし得る。

(ii) 第11図及び第12図の実施例の場合には、自動ID照合が得られた素材について、素材名画

像IND1～IND3と同じ位置に見出し画像IND1X～IND3Xを置き換え表示するようにし、また第13図及び第14図においては、項目名画像HED1と同じ位置に項目見出し画像HED1Xを置き換え表示するようにした実施例について述べたが、素材見出し画像及び項目見出し画像の表示の仕方はこれに限らず、種々変更し得る。

例えば第20図及び第21図の素材モニターMR2及び項目モニターMR1に素材一覧画面及び項目一覧画面を表示するにつき、画像表示領域ARA1及びARA11を設けると共に、その近傍位置例えば下側位置に素材名表示領域ARA2及び項目名表示領域ARA12を設け、画像表示領域ARA1及びARA11にそれぞれ素材名画像及び項目名画像を表示している状態から素材見出し画像及び項目見出し画像を表示するようにしても良い。

このようにすれば、表示される画像の内容が変化しても、素材名表示領域ARA2及び項目名表示領域ARA12の表示位置に変化がないので、

特開平1-265674 (11)

素材及び項目の確認を一段とし易くなる。

なおこの実施例において、自動ID照合が取れる前の状態においては素材名画像及び項目名画像を表示させないで、白紙画を表示させるようにしても良い。

(3) 第6図及び第8図の実施例においては、「番組」及び「項目」を入力するにつき、タブレットから手書き入力を用いるようにした場合について述べたが、これに代え、キーボード、文字認識手段などを用いて入力するようにしても上述の場合と同様の効果を得ることができる。

H 発明の効果

上述のように本発明によれば、編集された「素材」に対してキューシートを構成する素材のIDコードと同じIDコードを付与すると共に、当該IDコードに基づいてニュース素材制作作業を管理するようにしたことにより、報道部員が必要に応じてマニュアル的に確認しながらオンエアに至までのニュース素材を自動的に制作し得るニュー

ス番組放送システムを容易に実現し得る。

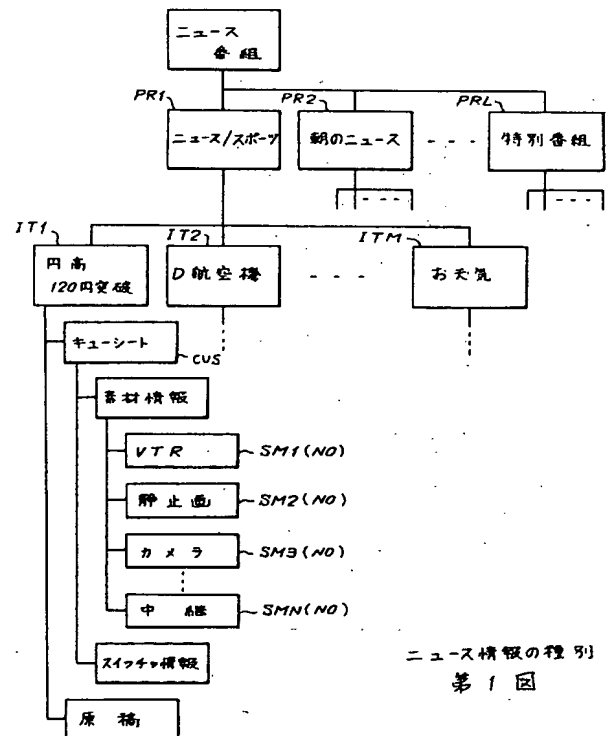
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明によるニュース番組放送システムに用いられるニュース情報の種別を示す系統図、第2図は本発明によるニュース番組放送システムの一実施例を示すブロック図、第3図はニュース制作時のID管理手法を示すフローチャート、第4図はニュース番組制作作業手順を示すフローチャート、第5図～第10図はワークステーションの表示画面を示す略線図、第11図及び第12図は素材モニタの表示画面を示す略線図、第13図及び第14図は項目モニタの表示画面を示す略線図、第15図～第18図は素材モニタの表示画面の他の実施例を示す略線図、第19図は素材モニタの表示画面のさらに他の実施例を示す略線図、第20図及び第21図は素材モニタ及び項目モニタの表示画面のさらに他の実施例を示す略線図である。

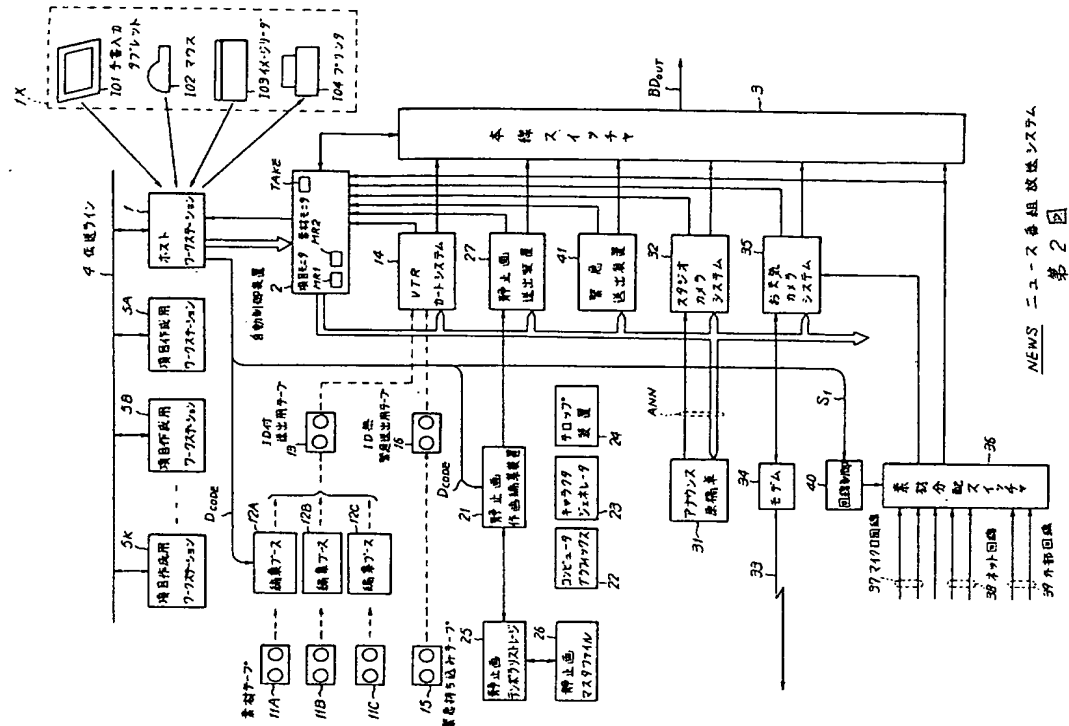
1 …… ホストワークステーション、2 …… 自動

制御装置、3 …… 本線スイッチャ、5 A ～ 5 K …… ワークステーション、14 …… VTRカートシステム、21 …… 静止画作画編集装置、27 …… 静止画送出装置、31 …… アナウンス原稿卓、32 …… スタジオカメラシステム、35 …… お天気カメラシステム、36 …… 素材分配スイッチャ、41 …… 緊急送出装置。

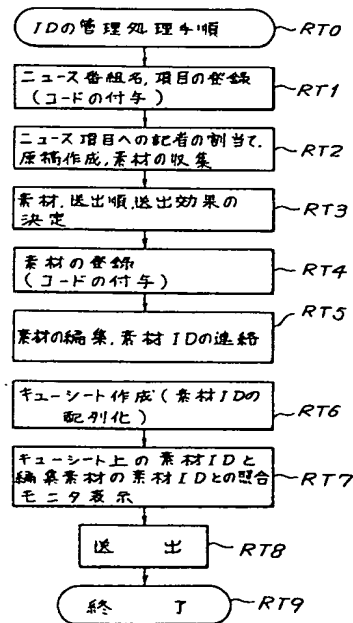
代理人 田 辺 恵 基



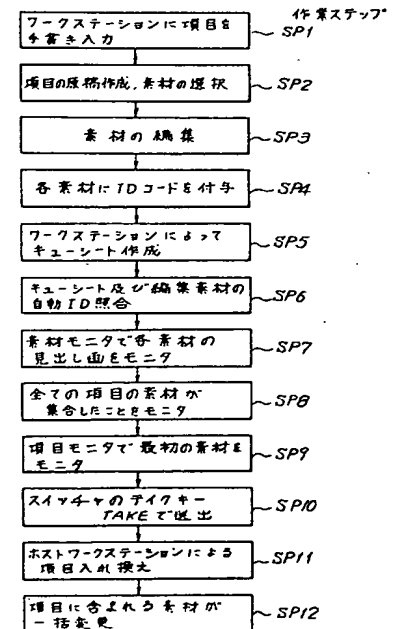
特開平1-265674 (12)



NEWS ニュース番組放送システム 第2図

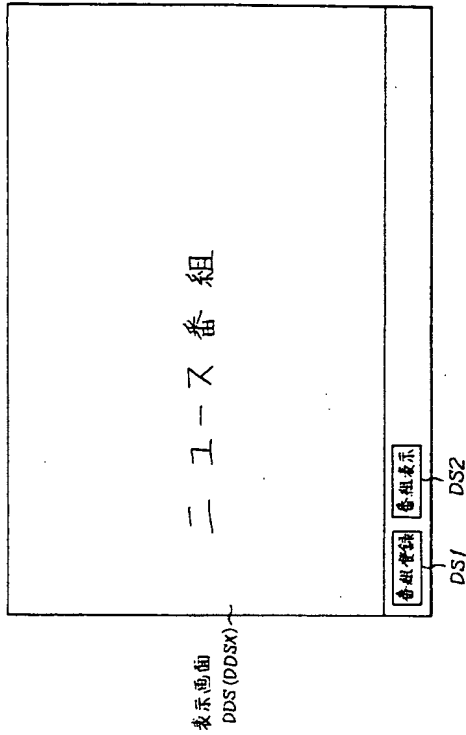
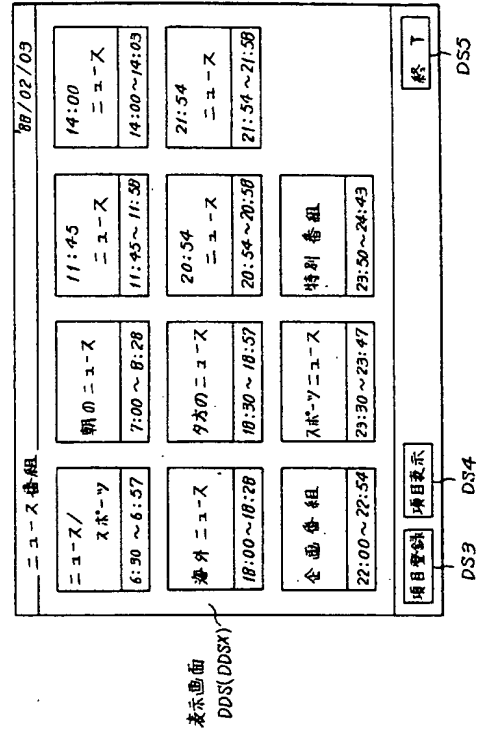
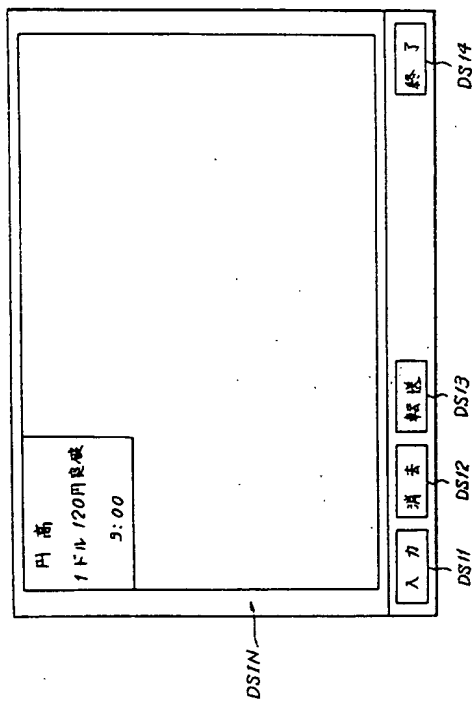
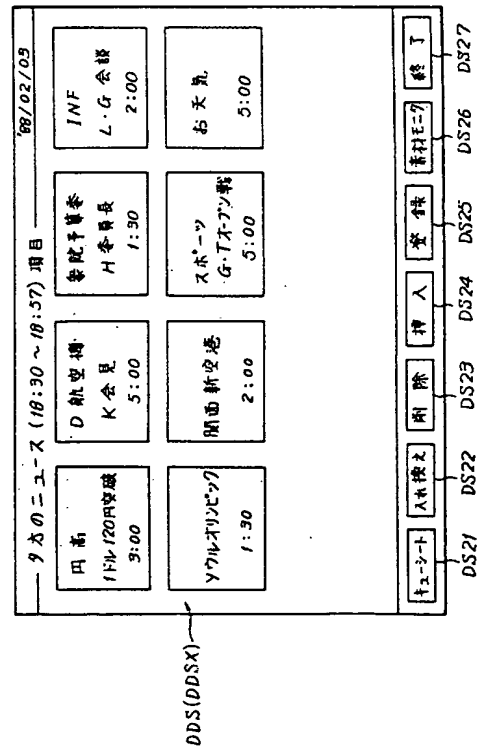


ニュース制作時のID管理手法 第3図

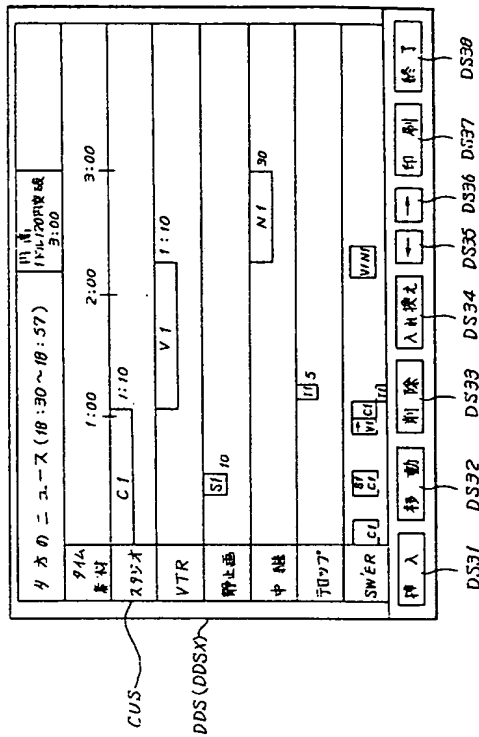
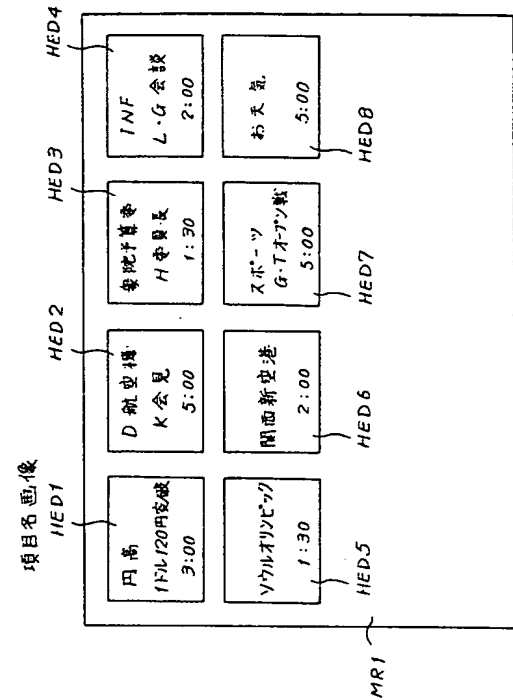
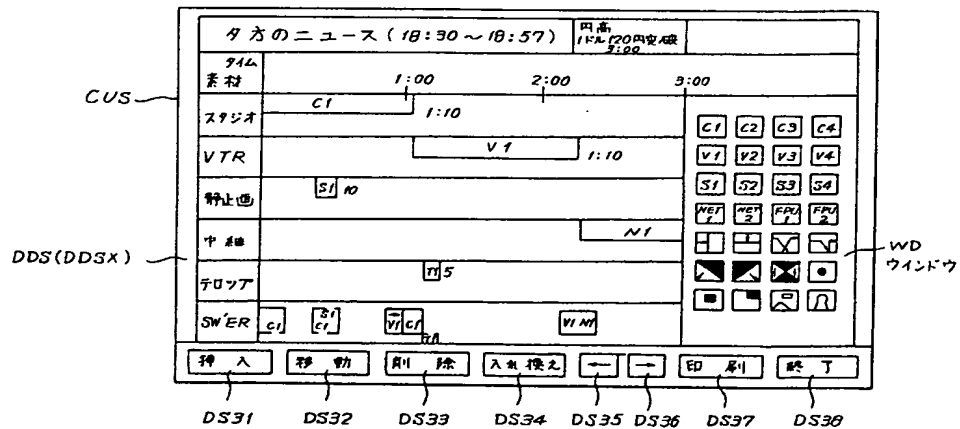


ニュース番組制作作業手順 第4図

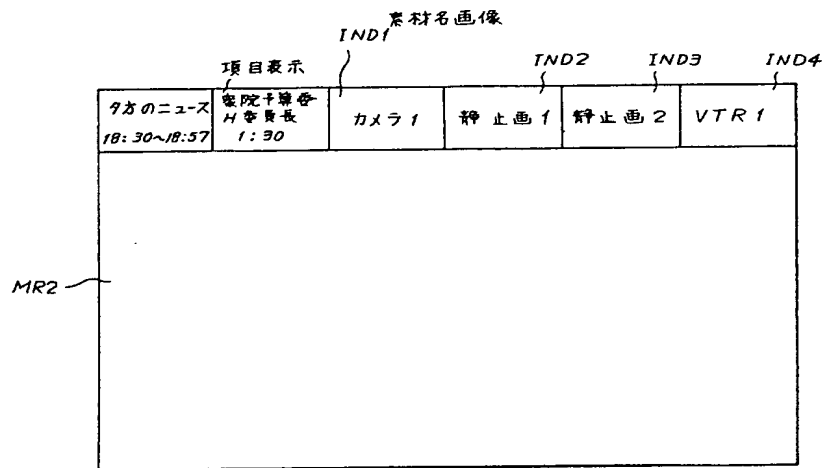
特開平1-265674 (13)

初期画面
第5図番組画面
第6図タブレットの入力画面
第7図項目画面
第8図

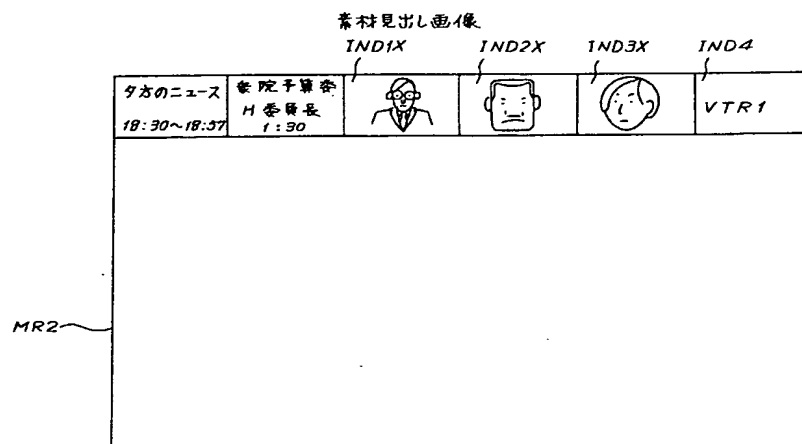
特開平1-265674 (14)

キューシート画面
第9図項目モニタの項目名画像
第13図キューシート作成画面
第10図

特開平1-265674 (15)

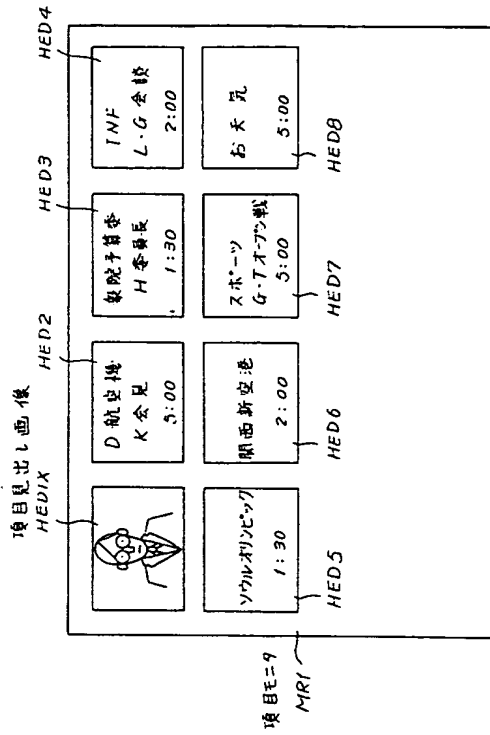


素材モニタの素材名画像
第11図

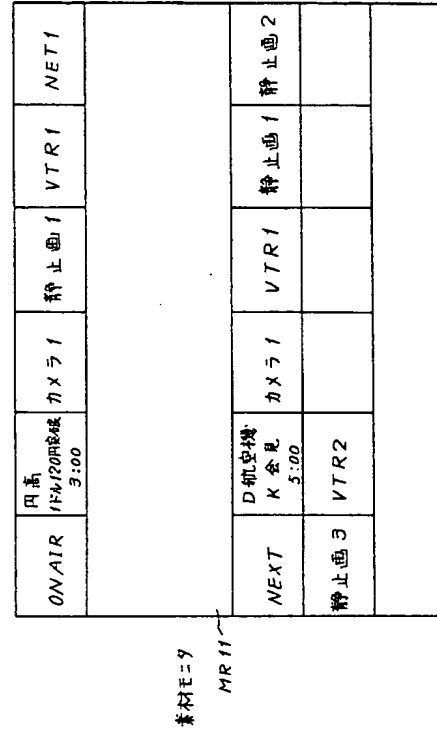


素材モニタの素材見出し画像
第12図

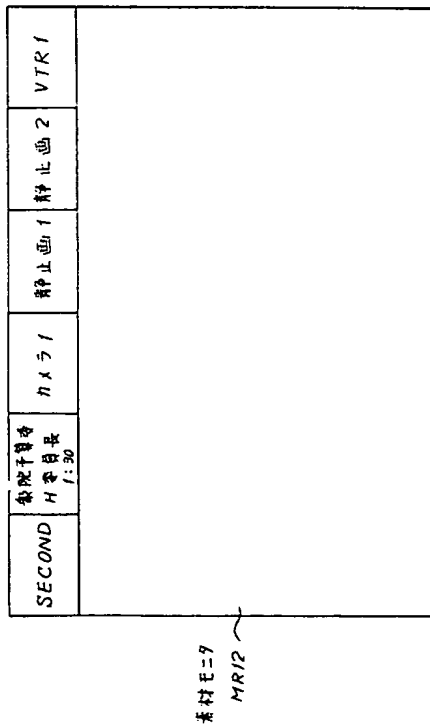
特開平1-265674 (16)



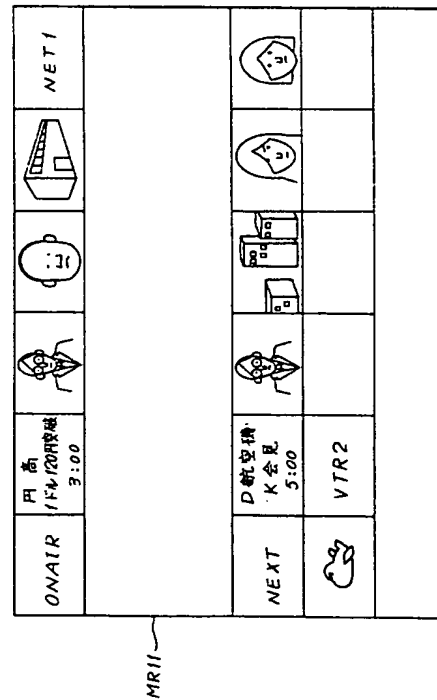
項目モニタの項目見出し画像
第14図



素材モニタのオンエア
ネクスト項目名画像
第15図

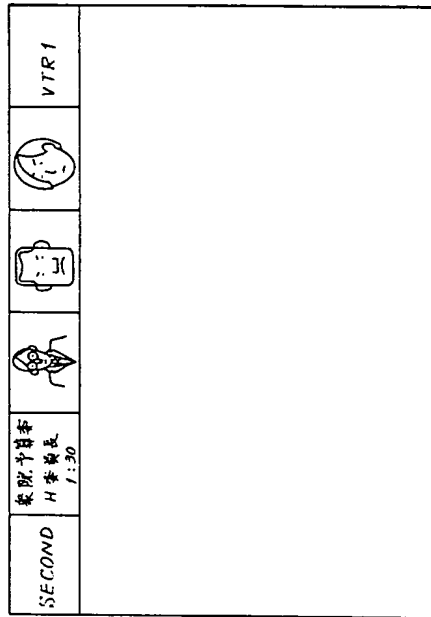


素材モニタのセカンド項目名画像
第16図

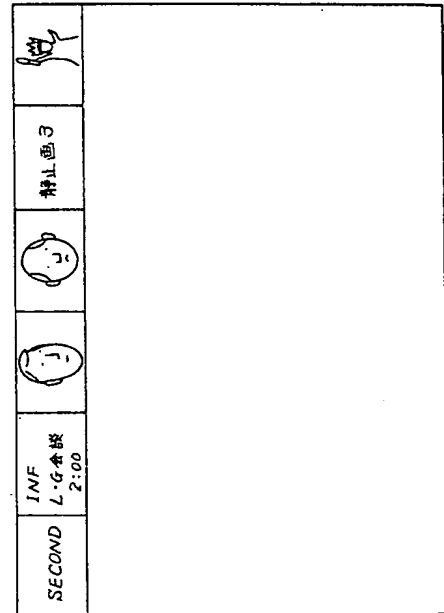


素材モニタのオンエア
ネクスト素材見出し画像
第17図

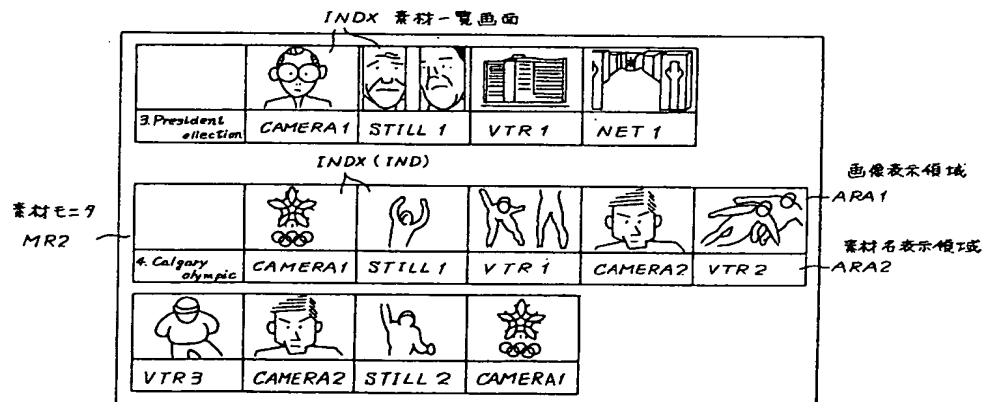
特開平1-265674 (17)



素材モニタのセカンド素材見出し画像
第18図

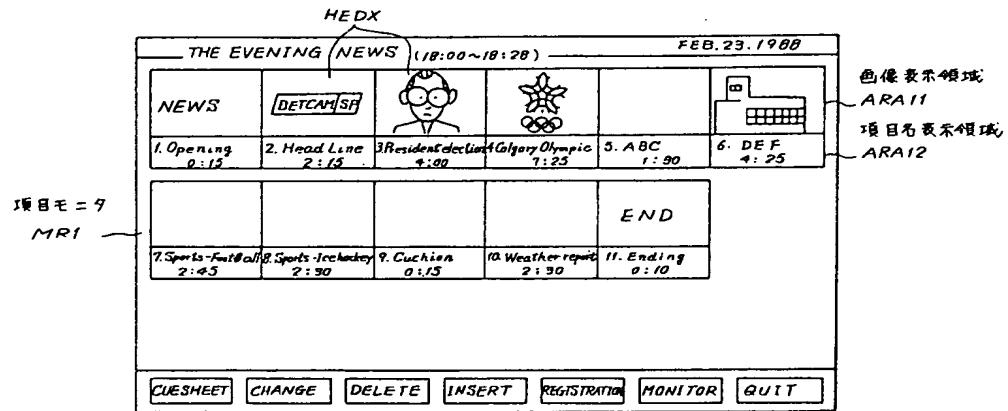


素材モニタのセカンド素材見出し画像
第19図



素材モニタの素材見出し画像
第20図

特開平1-265674 (18)



項目モニタの項目見出し画像
第21図

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 01-285874
(43)Date of publication of application : 23.10.1989

(51)Int.Cl.

H04N 5/222

(21)Application number : 83-094158

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 16.04.1988

(72)Inventor : TAKANO MASAYUKI
ONOUZUKA KUNIHARU
NAGASAWA FUMIHIRO
MATSUMOTO AKIHIKO

(54) NEWS PROGRAM BROADCAST SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To attain quick and sure transmission of resource by providing the 1st reference code to a news resource in the case of preparing a cue sheet, providing the same 2nd reference code in the case of editing the sheet and collating them automatically at the transmission.

CONSTITUTION: The news resource is collected by work stations 5A-5K and stored in a host work station 1. The reference code is given to the station 1 in the transmission order of the resource and registered in the reference file and a cue sheet CUS is prepared. Then a code data is sent from the station 1 to edit booths 12A-12C and a picture editor 21 and the 2nd reference code is given to the edited resource. Then the 1st and 2nd reference codes are given to the edited resource. Then the 1st and 2nd reference codes are collated at the transmission of the news resource. Thus, the news resource designated by the CUS is sent surely and quickly in the order.

